

現地レポート／高江洲 義太郎（高エネルギー加速器研究機構 素粒子 原子核専攻）

派遣先：ベルギー

派遣先機関名：Louvain カトリック大学

派遣期間：2011年9月18日～2011年12月15日

2011年10月18日報告分

授業・研究の進捗状況

まずローマでの研究会に参加した。そこではスイスのCERN欧州研究所で行われている大型ハドロンコライダーの実験解析に必要なシミュレーションパッケージ MadGraph の開発について議論を行い、他の開発チームの進捗状況やこれからの開発計画の確認などを行った。

その後すぐにベルギーのLouvainカトリック大学に向かい、そこでは博士論文に関連する研究を現地のMaltoni教授と進めている。今のところ当初の思惑通りの結果が得られており、次の段階に進もうとしているところである。

また、週一回ブリュッセルのベルギー自由大学の素粒子論研究室にもおもむき、ポスドクの馬渡氏や大学院生などと情報交換をしたり次なる研究へ向けて議論を行ったりしている。

生活関連状況

大学の敷地内に宿舎があり、そこで寝泊まりしている。昼食は研究室のメンバーと外に食べに行くが、夕食は宿舎でサンドイッチを作って食べている。食料や生活必需品は近くの町にいけばそろっており、特に不自由は感じない。ただ、町ではフランス語が使われるため、英語が通じない場面では多少意思疎通がむずかしいことがある。

気候はいまのところ穏やかで、健康状態も良好である。

その他報告すべき事項

特になし